



〔浴室・トイレ・洗面所用〕

三菱ダクト用換気扇

換気タイプ	局所換気タイプ	24時間換気機能付タイプ
形名	VD-10ZFC14	VD-10ZFLC14

取扱説明書・据付説明書

お客様用/販売店・工事店様用

お客様

この製品の運転にはスイッチが必要です。スイッチの位置を確認してください。

お客様自身では据付けしないでください。
(安全や機能の確保ができません)

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 「取扱説明書」は大切に保管してください。

販売店・工事店様

本冊子は据付け後、必ずお客様へお渡しください。

- 据付け、壁穴工事はお買上げの販売店・工事店様が実施してください。
- 電気工事は電気工事の方が実施してください。
- この製品は、浴室・トイレ・洗面所・居間・事務所・店舗の天井に据付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因となります。
- 形名によって据付け方法が異なりますので、据付け前に形名をご確認ください。形名表示位置は「3.各部のなまえ」を参照してください。
- この製品には市販の埋込スイッチ、またはシステム部材のコントロールスイッチが必要です。その他屋外フードなどは三菱換気送風機総合カタログをご確認の上、別途ご用意ください。
- 電子式スイッチ（半導体制御による速調・温度・湿度・タイマースイッチなど）やホルタルスイッチをご使用の場合は組合せ上、不具合の発生するおそれがありますので、ご使用の際はあらかじめご確認ください。
- 接続ダクトは外形寸法図に示すダクト径の塩化ビニル管・アルミフレキシブルダクト・銅板管のいずれかをご用意ください。

据付説明書は裏面をご覧ください

取扱説明書

1. 安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの	注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの
-----------	-----------------------------------	-----------	---------------------------------------

本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。

禁止	水ぬれ禁止	分解禁止	接触禁止	感電注意	指示に従う	アース確認
----	-------	------	------	------	-------	-------

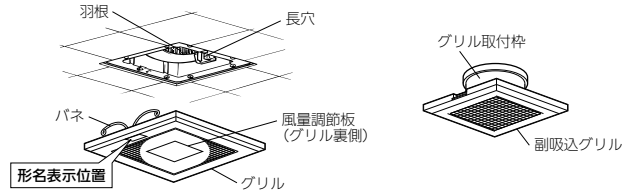
禁止	●内装式風呂を据付けた浴室には据付けられない 排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒をおこす原因。	指示に従う	●お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る 感電・けがの原因。
	●浴室内にコントロールスイッチを設けない 感電の原因。		●交流 100Vを使用する 直流や交流 100V以外を使用した場合に感電の原因。
水ぬれ禁止	●ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしない 爆発・引火の原因。	アース確認	●異常・故障時には、直ちに使用を中止する 発煙・発火・感電・けがの原因。 〈異常・故障例〉 本説明書末尾の「愛情点検」をご参照ください。
	●製品に直接水やお湯、かび取りなどをかけない ショート・感電の原因。		●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう据付ける 漏電した場合に発火の原因。
分解禁止	●改造や工具を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因。 分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客様相談窓口にご相談ください。		●湿気が多い場所ではアースを確実に取付ける 故障や漏電した場合に感電の原因。
感電注意	●電気工事の際、裸線に接触しない 感電の原因。		

注意			
禁止	●換気扇設置場所で熱気や油煙を発生させない 本体・部品の落下によるけがの原因。	接触禁止	●運転中は危険なため、羽根の中に指や物を入れない けがの原因。
	●換気扇設置場所で中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用しない 本体・部品の落下によるけがの原因。		●電気工事は必ず電気工事店に依頼する 感電の原因。
	●直接炎のあたるおそれのある場所や有機溶剤・可燃性ガスのある場所には据付けない。また、使用しない 火災の原因。		●お手入れの際は手袋を着用する 着用しないとけがの原因。
	●台所・厨房・飲食店など、熱気や油煙が発生する場所には据付けない 本体・部品の落下によるけがの原因。		●部品の据付けは確実に 落下によるけがの原因。
	●中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用する場所には据付けない 本体・部品の落下によるけがの原因。		●長期間ご使用にならないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。
指示に従う	●本体に異常な振動が発生した場合は使用しない 本体・部品の落下によるけがの原因。	指示に従う	●据付けの際は必ず手袋を着用する けがの原因。
			●本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に 落下によるけがの原因。
			●電気工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に 接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因。

2. 特長

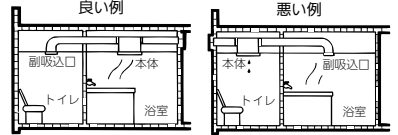
24時間換気機能付タイプは換気風量（強・弱）の切り替えが可能であり、「弱」運転で24時間換気を行うことで、給気口から新鮮な空気を取り入れ室内空気環境を改善します。

3. 各部のなまえ



ご使用にあたってのお願い

- 高温（40℃以上）になるところに据付けられていないか確認してください。（製品の変形や早期故障の原因となります）
- スプレー（殺菌剤・整髪用・掃除用など）をかけないでください。（グリル・羽根の破損、変質の原因となります）
- 換気扇設置場所で中性以外の洗剤や消毒剤などを頻繁に使用すると寿命が短くなる場合がありますのでご注意ください。
- 浴室と他の部屋で使用する場合は本体が必ず浴室に据付けられているか確認してください。（本体から水滴が落ちることがあります）



4. 使用方法

注意

- 換気扇設置場所で熱気や油煙を発生させない 本体・部品の落下によるけがの原因。
- 換気扇設置場所で中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用しない 本体・部品の落下によるけがの原因。

- 運転開始と停止は壁のスイッチで行います。
- VD-10ZFLC14は、壁のスイッチで風量の「強」・「弱」を切り替えることができます。

- お願い**
- 浴室使用においては、入浴時以外は浴槽に風呂フタをしてください。（浴室・換気扇のいたみを少なくします）
 - 給気口があるか確認してください。（効果的な換気を行うために必要です）

- お知らせ**
- 浴室使用においては、冬場や湯気の量が多いときなどにグリルから水滴が落ちることがありますが異常ではありません。また、入浴剤をご使用の場合は色のついた水滴になる場合があります。
 - この換気扇は外気逆流や冷気侵入などを低減させるため、排気側に風圧式シャッターを設けています。風圧式シャッターでは急激なドアの開閉や外風の強い時などに、シャッターの閉じる音が聞こえる場合があります。
 - 羽根への汚れ付着量は換気扇の設置環境、使用頻度、機種によって異なります。
 - スイッチにより、ランプが点灯して運転中であることが分かるものがあります。
 - スイッチ（ランプ付）の仕様により、「強」・「弱」切り替えてランプの点灯が薄くなったりちらついたりすることがありますが異常ではありません。
 - この製品は、本体が運転していない状態では副吸入側から換気はしません。

「強」運転の上手な使いかた

- 浴室・洗面所の水蒸気やトイレの臭いを急速に排出したいときは「強」運転に切り替えます。
- 浴室では入浴後、湯を抜くか、浴槽に風呂フタをして3時間以上換気扇を「強」運転し、浴室を乾燥させます。…結露・カビの発生を抑制して浴室安全に役立ちます。

5. お手入れのしかた

6か月に1度を目安に、グリルの清掃をしてください。
 ※清掃頻度は目安であり、使用環境により異なります。
 グリルにほこりが付着しますと風量低下や異常音発生の原因となります。

警告

お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る
 感電・けがの原因。

注意

お手入れの際は手袋を着用する
 着用しないけがの原因。

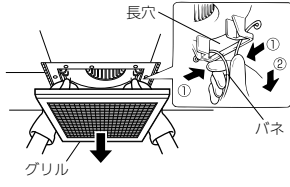
お願い

- お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。
 (台所用中性洗剤をご使用ください。ただし、柑橘系などの植物系洗剤はプラスチックが破損するおそれがあるため使用しないでください)
 シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、酸性洗剤、
 アルカリ性洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザーなどの研磨材入りの洗剤、殺菌剤、
 消毒剤など
 (異常音の発生、変質、変色、塗装ががれや故障の原因となります)
- 台所用中性洗剤は原液のまま使用せず、洗剤に記載の使用量の目安に従い、薄めてご使用ください。
- 洗剤が残らないようによくふき取ってください。

グリルをはずす

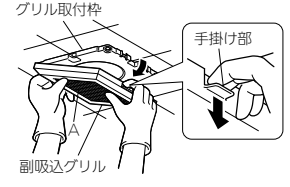
本体側の場合

- グリルを両手で少し下げ、パネをにぎって本体内部の長穴からはずします。
- パネは片側ずつ取りはずすとスムーズにはずれます。



副吸込側の場合

- 副吸込グリルの両側の手掛け部を持って片側の手掛け部を下へ引きグリル取付枠からはずします。

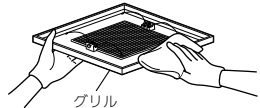


お知らせ

- 副吸込グリルがはずれない場合は、イラストの「A」の格子部を押し上げながら、手掛け部を下へ引くとはずしやすくなります。

汚れを取る

- グリルの汚れは、台所用中性洗剤を浸した布でふき取り、洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取ります。
- グリル以外の汚れがひどい場合および振動や騒音が発生した場合は、お買い上げの販売店かお近くの「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。



グリルを据付ける

- グリルを据付ける前に、パネの固定部に割れ・ひびなどの破損がないか確認してください。

本体側の場合

- 風量調節板を取りはずした場合は元どおりに取付けます。
- パネを長穴に差し込み、グリルを軽く上に押し上げます。
- パネは本体側へ片側ずつ差し込むとスムーズに据付けられます。

副吸込側の場合

- 副吸込グリルをグリル取付枠に合わせて上に押し上げます。

6. 修理を依頼する前に

このような動作や事象は異常ではありません。

- 浴室使用においては、冬場や湿気の量が多い時はグリルから水滴が落ちる場合があります。
 また、入浴剤をご使用の場合は色のついた水滴になる場合があります。
- この換気扇は風圧式シャッターを設けています。
 急激なドアの開閉や外風が強いなどに、シャッターの閉じる音が聞こえる場合があります。
- ダクト配管が長いまたは曲がりが多い場合は、羽根の回転数が上昇し、運転音が大きくなります。
- 使用環境によっては、部屋の反響などにより、音が大きく聞こえる場合があります。
- スイッチ(ランプ付)の仕様により、「強」、「弱」運転切替えでランプの点灯が薄くなったり、ちらついたりすることがあります。

当社ホームページの「よくあるご質問FAQ」もご確認ください。

(<https://faq01.mitsubishielectric.co.jp/category/show/270>)



このような症状があれば点検してください。

- スイッチを「入」にしても換気扇が運転しない。
- 換気されない、換気量が不足する。
 ●運転中に異音がある。
- グリルから室内に風が吹き返す。
 ●運転中に振動がある。
- グリルがはずれかけている。
 または傾いている。
- ブレーカーが切れていたり、停電ではありませんか?
 ●羽根が回転しているか確認してください。
 運転音が小さく、運転しているか分かりにくい場合があります。
- 羽根に異物が付着していませんか?
 ●給気不足ではありませんか?
 (給気ガラリ、給気口は開いていますか?)
- 屋外フードにほこりが堆積していませんか?
 ●グリルや本体が確実に据付けられていますか?
- 本体に確実に据付けてください。

必ず電源を切ってから、お買い上げの販売店・工事に点検・修理を依頼してください。

費用については販売店・工事ににご相談ください。

7. アフターサービス

●この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この換気扇の補修用性能部品を、製造打切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 長年ご使用いただくためには換気扇のメンテナンスが必要です。
- モーターは消耗部品です。

修理を依頼されるときは

●ご使用中を中止し、必ず電源を切ってから、お買い上げの販売店・工事に連絡ください。

●修理料金は

技術料+部品代(+出張料)などで構成されています。

- 技術料…製品の点検や故障した製品を正常に修復するための料金です。
- 部品代…修理に使用した部品代金です。
- 出張料…お客様のご要望により、製品のある場所へ技術員を派遣する費用(出張料)や有料駐車場の費用(駐車料)を別途いただく場合があります。

●ご連絡いただきたい内容

1. 品名 ダクト用換気扇
2. 形名 VD-0000
3. お買い上げ日 ○年 ○月 ○日
4. 故障の状況 (できるだけ具体的に)
5. ご住所 (付近の目印なども)
6. お名前・電話番号・訪問希望日

ご相談窓口・修理窓口のご案内(住宅用換気送風機)

取扱い・修理のご相談は、まずお買い上げの販売店・施工者・設備業者へ

●お買い上げの販売店にご依頼できない場合(転居や贈答品など)は、**窓窓口**へお問い合わせください。

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報、下記のとおり、お取り扱いいたします。
 1. お問合せ(ご依頼)いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的の範囲内に製品品質、サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
 2. 上記利用目的のために、お問合せ(ご依頼)内容の記録を残すことがあります。
 3. あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合は除きます。当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
 ①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
 ②法令等定める規定に基づく場合。
 4. 個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

ご相談窓口 住宅用換気送風機の購入相談・取扱い方法

三菱電機換気送風機技術相談センター

フリーダイヤル **0120-726-471** (無料)
 携帯電話対応 三菱電機株式会社 中津川製作所 FAX (0573) 66-5659 (有料)
 〒508-8666 岐阜県中津川市鞍馬町1番3号

■ご相談対応

平日(土・日・祝及び弊社休日以外)
9:00~12:00
13:00~17:00

修理窓口 住宅用換気送風機の修理の問合せ・修理の依頼

三菱電機修理受付センター

フリーダイヤル **0120-56-8634** (無料)
www.melco.jp/support/
 こちらから簡単にアクセスできます。

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報、下記のとおり、お取り扱いいたします。
 1. お問合せ(ご依頼)いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的の範囲内に製品品質、サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
 2. 上記利用目的のために、お問合せ(ご依頼)内容の記録を残すことがあります。
 3. あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合は除きます。当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
 ①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
 ②法令等定める規定に基づく場合。
 4. 個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

8. 仕様

局所換気タイプ 定格電圧100V

形名	消費電力(W)		風量(m³/h)		騒音(dB)		質量(kg)
	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
VD-10ZFC14	13	15.5	120	125	27	27.5	2

24時間換気機能付タイプ 定格電圧100V

形名	設定	消費電力(W)		開放風量(m³/h)		有効換気量(m³/h)		騒音(dB)		質量(kg)		
		50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	パイプ長さ20m時		パイプ長さ30m時				
		強	弱	24時間換気(弱)	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz		60Hz	
VD-10ZFLC14	強	13	15.5	120	125	94	96	86	88	27	27.5	2
	弱	5.5	5.5	70	65	53	53	49	49	18	18	

※特性はJIS C 9603に基づく開放時の値です。
 ※騒音値は無音室での測定値です。実稼働状態では反響音などを含むためこれより高くなります。
 ※加圧配管相当品としてみなし、ダクトや屋外フードの圧力損失を考慮して20m、30m時の換気量を「有効換気量」と称しています。
 (戸建住宅は20m、集合住宅は30mを想定)

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

【本体への表示内容】
 ※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容を本体に表示しています。

【設計上の標準使用期間とは】
 ※運転時間や湿度など、標準的な使用条件(右表による)に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全に支障なく使用することができる標準的な期間です。
 ※本製品の設計上の標準使用期間は、製造年を始期とし、JIS C 9921-2に基づいて算出したもので、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保障するものでもありません。
 ●本製品は取扱説明書記載の設置場所の想定時間を用いて設計上の標準使用期間を算出しています。
 ●「経年劣化」とは長期間におわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります
 【設計上の標準使用期間】15年
 (設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。)

■標準使用条件 JIS C 9921-2

環境条件	電圧	単相100V	定格電圧による
周波数	50Hzおよび60Hz		定格周波数による
湿度	20℃		JIS C 9603から引用
温度	65%		
設置条件	標準設置		取扱い説明書による
負荷条件	定格負荷		取扱説明書による

注) 24時間換気のものは、8760時間/年とする。

愛情点検

☆長年ご使用の換気扇の点検を!

ご使用の際このようなことありませんか。

- スイッチを入れても羽根が回転しない。
- 運転中に異常音や振動がある。
- 回転が遅いまたは不規則。
 (モーターはメンテナンスが必要な部品です)
- こげ臭いにおいがする。
- 本体据付部に腐食、破損などがある。

故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店にご連絡ください。
 点検、修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客様メモ

形名

お買い上げ年月日

年 月 日

お買い上げ店名(住所)

(電話番号)

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。
 (材質名は主材料にISO規定の略号を使用)

据付説明書

1. 据付けを正しく安全に行うために

据付けを始める前に「1.安全のために必ず守ること」(表面)、据付手順をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

2. 据付け前のお願い

⚠️ 注意

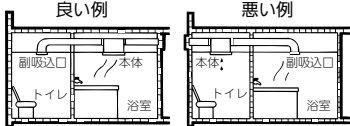
- 台所・厨房・飲食店など、熱気や油煙が発生する場所には据付けない
本体・部品の落下によるけがの原因。
- 中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用する場所には据付けない
本体・部品の落下によるけがの原因。

据付けにあたって

- プラスチックボディタイプダクト用換気扇およびダクト用システム部材の使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁(特に消防署)にご相談ください。
- 高温(40℃以上)になるところには据付けないでください。早期故障の原因となります。
- 温泉には据付けしないでください。腐食(落下)、漏電(感電)、早期故障の原因となります。
- 業務用24時間風呂のような常時湿気のある場所では寿命が短くなる場合があります。
- 浴室などの湿気の多いところに据付ける場合は漏電ブレーカーを取付けてください。
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。
- 傾斜天井には据付けないでください。シャッター開閉不良、振動、異常音の原因となります。
- 製品上部を断熱材などで覆わないでください。早期故障の原因となります。

据付位置

- 浴室など湿気の多い場所では、グリルから水滴が落ちて不快感にならない位置に据付けてください。
- グリルを取りはずしやすくするためグリル側面と部屋の壁面が150mm以上離れる位置に製品を据付けてください。
- 浴室と他の部屋で使用する場合は本体を必ず浴室に据付けてください。本体から水滴が落ちることがあります。



天井・ダクト工事

- 天井材は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものをご使用ください。
- 排気ダクトは雨水の浸入やドレン水の逆流を防ぐため屋外に向けて1/100以上の下り勾配をつけてください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。風量低下や異常音発生の原因となります。

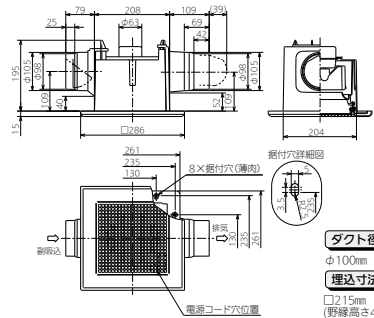


- 極端な曲げ
- 多数の曲げ
- ダクト接続口のすぐそばの曲げ
- しぼり

3. 外形寸法図

単位(mm)

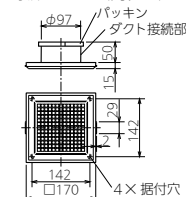
■VD-10ZFC14、VD-10ZFLC14



付属部品

ホネジ (ステンレス製) (本体固定用)	ホネジ (副吸込グリル 取付枠の固定用)	副吸込グリル
6本	4本	1個

副吸込グリル(同梱品)

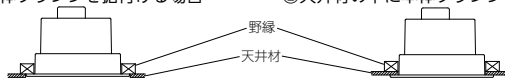


4. 据付方法

※野縁に強度がないなどで天井金具を使用される場合は後述の“天井金具を使用する場合”をご覧ください。

※据付方法には①野縁に本体フランジを据付ける方法、②天井材の下に本体フランジを据付ける方法があります。使用環境に合わせて据付けてください。

- ①野縁に本体フランジを据付ける場合 ②天井材の下に本体フランジを据付ける場合

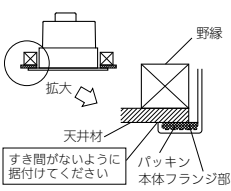


天井材の下に本体フランジを据付ける場合の注意点

- 本体の据付けは天井材と本体フランジ部との間にすき間がないように据付けてください。
(天井材と本体フランジ部が密着しないと天井面とグリルの間にすき間が生じる場合があります)

パッキン材を使用する場合

- 天井材と本体フランジ部の間にパッキン材を使用する場合は薄いもの・軟らかいものを使用し、据付状態ですき間がないようにしてください。



補強板を使用する場合

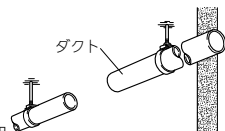
- ユニットパスに設置する場合などで、天井面と本体フランジ部との間に補強板を入れる場合には、厚さが1mm以下のものをご使用ください。

以下、①野縁に本体フランジを据付ける方法を例として記載しています。②天井材の下に本体フランジを据付ける方法については、野縁組立後に天井材を張り同様の手順で据付けてください。

1. ダクト工事

壁排気穴から本体のダクト接続口までダクト配管する。あわせて副吸込位置から本体の副吸込側ダクト接続口までダクト配管する。

- ダクトはダクト接続口に力が加わらないよう天井より吊る。
(力が加わるとシャッター開閉不良、風漏れの原因となります)
- ダクトに結露が発生する場所においては、ダクトに断熱処理を施してください。(結露により天井材を汚損する原因となります)



2. 野縁組立

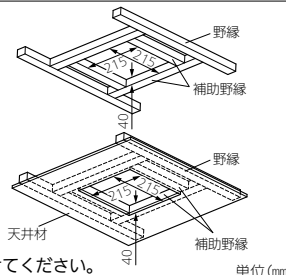
①野縁に本体フランジを据付ける場合

内寸が215mm、高さが40mm以下になるよう補助野縁4本を使用して据付枠を組む。

②天井材の下に本体フランジを据付ける場合

野縁の内寸が215mm、野縁高さ+天井材厚さが40mm以下になるよう、最低2本の補助野縁を使用して据付枠を組む。

(野縁高さ(＋天井材厚さ)が40mmより大きい場合据付けできません)



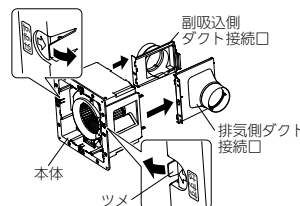
お願い

- 天井がたわまないように、十分強度のある野縁に据付けてください。
- 野縁を組立てる際は、据付穴のピッチと据付穴の詳細図をご確認ください。野縁内寸法が大きいと、木ネジが垂直に打てなくなり、野縁の割れによる固定不具合の原因となります。

3. ダクト接続

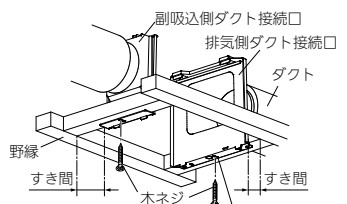
排気側・副吸込側ダクト接続口の取りはずし

- 本体内側のツメを矢印の方向に押さえながら排気側・副吸込側ダクト接続口を図のように取りはずす。
- 副吸込側ダクト接続口が取付く本体フランジ部の長穴(薄肉部)は本体据付け前に必ず切り取ってください。接続口の固定ができません。



排気側ダクト接続口の固定と副吸込側ダクト接続口の仮固定

- (1) 排気側・副吸込側ダクト接続口をダクトに差し込む。
 - (2) 排気側ダクト接続口のフランジ部を野縁に密着させて付属の木ネジ1本で図の野縁の角から表のすき間を空けて野縁に固定する。
 - (3) 副吸込側ダクト接続口のフランジ部を野縁に密着させて付属の木ネジ1本で図の野縁の角から表のすき間を空けて野縁に仮締めする。
- 仮締めすることで本体の差し込み時に副吸込側ダクト接続口の位置を調整することができます。



ダクト接続口のフランジ部中心の穴 単位(mm)

すき間寸法	
排気側ダクト接続口	副吸込側ダクト接続口
6	56

塩化ビニル管と接続する場合は、ダクト方向の微調整が可能です。(全方向7°)

先に天井材を張っている場合

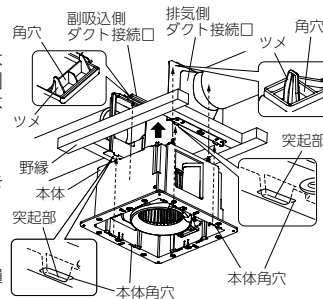
ダクト接続口をテーピングしてください。

- お願い ● ダクト接続口に無理な力が加わらないように注意してください。
(力が加わるとシャッター開閉不良・風漏れの原因となります)

4. 本体の据付け

本体の差し込み

- (1) 本体を野縁にそって差し込む。
- (2) 排気側・副吸込側ダクト接続口とはめ込みは、本体上部ツメを排気側・副吸込側ダクト接続口の角穴に、下部は突起部を本体角穴にめ込む。



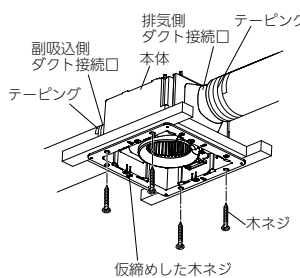
先に天井材を張っている場合

(1)の前に本体上部のゴムブッシュより電源電線を本体内に引き込んでください。

- お願い ● 羽根を持って本体の据付けを行わないでください。
(本体に羽根があたり、異常音の発生や羽根破損の原因となります)

本体の固定

- (1) 本体が排気側・副吸込側ダクト接続口に密着していることを確認してから付属の木ネジ4本で向かい合う2辺の据付穴を使用し、本体をすき間のないようにしっかり固定する。
(すき間があると風漏れの原因となります)
- (2) 据付穴は風漏れ防止のため薄肉がついていますが、木ネジ締め付けの際、木ネジ先端で薄肉部を突き破ってください。
- (3) 風漏れのないよう市販のアルミテープなどでダクト接続部をテーピングする。



天吊金具を使用する場合

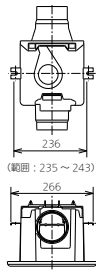
野縁に強度がない場合は天吊金具を使用して据付けの方法も併用してください。

下図の位置（単位：mm）にあらかじめ市販の吊りボルト（M8またはM10）を埋め込む。

天吊金具P-02TK₃（別売システム部材）据付位置（2点吊り）

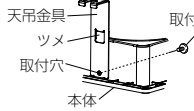
お願い

- 本体付近に必ず点検口を設けてください。本体着脱の際、天井をはがさないと据付けられない場合があります。



天吊金具（別売システム部材）のツメを本体に引っ掛けて、内側から取付ネジで固定する。

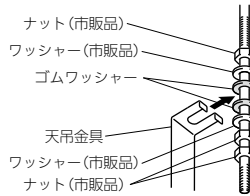
- 本体側の取付穴は風漏れ防止のため薄肉がついていますので、ネジ締め付けの前に薄肉部を貫通させてください。



本体が水平になるように天吊金具を吊りボルトに据付け、ナットがゆるまないようワッシャー・ナットにて確実に固定する。

お願い

- 下側のナットには緩み防止機能付ナットの使用やダブルナットなどにより緩み止めを施してください。



5 電気工事



警告

- 電気工事の際、裸線に接触しない感電の原因。

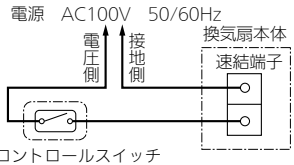
電線同士の接続や接地工事を行う場合は電気工事士の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令（および同解説）」および「内線規程」に従い実施してください。

お願い

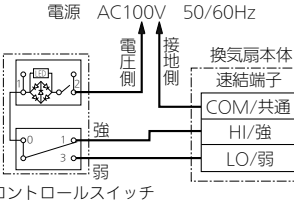
- 結線間違いや異電圧印加などの誤結線を行いますとモーターが故障します。誤結線によるモーター故障の場合、サービス費用（交換部品代含む）はおお客様のご負担となりますので結線図を十分ご確認ください。電圧の確認や電気配線の識別を実施の上、結線してください。

結線図（太線部分を結線する）

●単一風量機種



●強弱切替機種



●適応コントロールスイッチ

本体形名	コントロールスイッチ	
	形名	定格
VD-10ZFC14	P-10SW ₂	4A-AC300V

本体形名	コントロールスイッチ	
	形名	定格
VD-10ZFLC14	P-04SWLB ₅	0.5A-AC300V

- コントロールスイッチ（ランプ付）の仕様により、「強」・「弱」切替えてランプの点灯が薄くなったりちらついたりすることがありますが異常ではありません。
- 市販のコントロールスイッチで24時間換気運転する場合は、スイッチを容易に停止されない工夫が必要です。

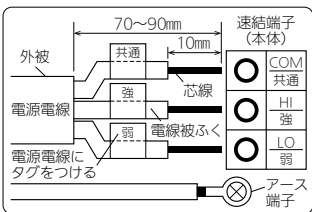
結線の前の確認

1. 電圧の確認
 - 線間電圧が表の電圧であることを確認してください。
2. 電気配線の識別
 - 正しく結線するために、電気工事の際、各電源電線を識別できるようにしてください。

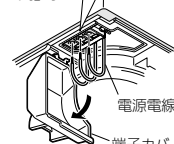
測定部 スイッチ	線間電圧(V)	
	共通-強	共通-弱
切	0	0
入-強	100	0
入-弱	0	100

結線方法

1. 本体上部のゴムプッシュより電源電線（屋内配線VVFケーブルφ1.6またはφ2）を通す。
 - 電源電線の外被は70~90mm皮むきしてください。
 - 電源電線は、接続部に力が加わらないよう本体付近で約150mmたるませて、本体上部のモーターに接触しないようにしてください。
2. 端子カバーロック部品が「開」状態であることを確認後、端子カバーの取手部に指を掛け、下に引いて端子カバーを開け、連結端子に皮むきした芯線を確実に奥まで差し込む。
 - 電線被ふくは10mm皮むきしてください。端子カバーに刻印されている皮むき寸法図に合わせて皮むきすると便利です。（10mm以上むくと漏電の原因となります）
 - より線を結線する場合は、棒状圧着端子（市販品）をより線に取付けてから連結端子に確実に差し込んでください。（導電部10mm未満の場合、結線部外れの原因となります）
3. 浴室など湿気の多いところで使用する場合は、アース線を使用して必ずD種接地工事を行う。また、漏電ブレーカーを取付ける。
 - アース工事の際は、単線の1.6またはより線1.25mm²をご使用ください。（圧着工具は日本圧着端子製造(株)製YHT-2210をご使用ください）

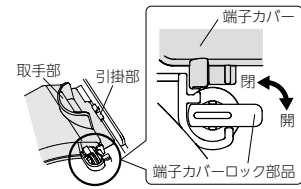


＜端子カバー「開」時＞



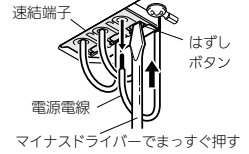
4. 端子カバーを元どおり取付ける。「パチン」と音がするまで押し込み、端子カバーが引掛部に確実に固定されていることを確認する。
5. 端子カバーロック部品を端子カバーに記載の「閉」方向に回転させてロックする。

＜端子カバー「閉」時＞



電源電線の外し方

1. 端子カバーロック部品を端子カバーに記載の「開」方向にマイナスドライバーで回転させてロック解除し端子カバーを開ける。
2. マイナスドライバーで連結端子のはずしボタンをまっすぐ押しながら電源電線を引いてはずす。

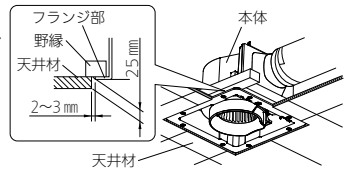


6 天井材を張る

- (1) 天井材を張る。
- (2) 本体のフランジ部分と天井材は必ず2~3mmのすき間があくよう角穴をあける。

お願い

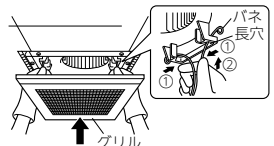
- 天井材の厚さは25mm以下で据付けてください。（グリルが天井材に密着しない場合があります）



7 グリルの据付け

本体側の場合

- (1) グリルのパネを指先で締め長穴に差し込む。パネは本体側へ片側ずつ差し込むとスムーズに据付けられます。
- (2) 手を放し軽くグリルを押し上げ天井材に密着させる。

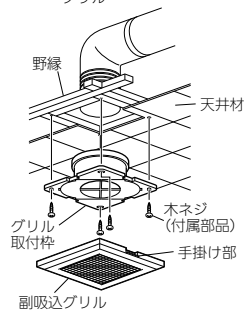


副吸込側の場合

- (1) 内寸120mm角となるように野縁を組む。
 - 石こうボードに直取付けを行う場合は、必ず市販の石こうボード用アンカーを使用してください。また、石こうボード用アンカーとグリル取付枠のネジ位置がズレないように取付けてください。
- (2) 副吸込グリルとグリル取付枠に分ける。

お願い

- フレキシブルダクトに差し込む場合は必ずテーピングしてください。（風漏れ防止）
- (3) 付属の木ネジ4本でグリル取付枠を天井材に固定する。
- (4) 副吸込グリルをグリル取付枠に合わせて上に押し上げ据付ける。



5. 試運転およびお客様への説明

- コントロールスイッチの切/入、強/弱切り替えが正しくできるか確認してください。
- 異常な音や振動がないか確認してください。
- 羽根が外れていないか確認してください。

お客様への説明

表面の取扱説明書に従って、正しい使い方をお客様、発注者（オーナー、ゼネコン）または管理者に説明してください。

6. 修理を依頼する前に

●試運転時に、次のような症状があれば点検してください。

こんなとき	原因	点検・処置
電源スイッチを「入」にしても羽根が回転しない強/弱どちらか動かない	分電盤のブレーカーが「切」になっている	ブレーカーを「入」にする
	正しく結線されていない	結線を確認する（スイッチ部/電源線接続部） ※換気扇に AC100V が供給されていることを確認する ※「共通」への結線が正しく接続されていることを確認する ※「5 電気工事」の電圧チェック表を確認する
	羽根が本体に接触している	羽根をモーター方向に押し込む
	本体・グリルが確実に据付けられていない	正しく据付け直す
	羽根・グリルに異物が付着している	異物を取り除く
	本体の固定（天吊金具・ネジ止め）が弱い	本体の固定を確認する
	換気風路の抵抗が大きい（ガラリ・アンダーカット）	ガラリ・アンダーカットを開けて給気する
	換気風路の抵抗が大きい（ダクト配管）	ダクトのつづれ、急な曲がりを修正する
	換気風路の抵抗が大きい（屋外フード）	屋外フードのほこりを清掃する（特にリフォーム時）
	羽根が本体に接触している	羽根をモーター方向に押し込む
	本体グリルの風量調節板が取付けられていない	本体グリルに風量調節板を取付ける
副吸込グリル側から吸い込まない	※ティッシュペーパー1枚(2枚1組のティッシュは1枚に分ける)を副吸込グリルに近づけ取付かどうかで簡易的に副吸込グリルの吸込みを確認できます。 ※VD-10ZFLC14の確認は強運転で行ってください。	副吸込グリル ティッシュ